

### 諸塚の四季 Vol. 58 「絆～皆さまとの大切な出会いを新しい形に」

#### 目次

巻頭コラム	1
諸塚の四季	
やま学校日記①	2
エコツアー第106回	
やま学校日記②	4
エコツアー第109回	
諸塚を食べる	6
諸塚ワサビ	
泊まる「牛の仔」	
うちにとまらんけ! 農家民宿	
NEWS	7
今年のホットトピックス	
お知らせ	8
夜神楽の季節	

久々のお便りとなつてしまいましたが、皆さまお変わりございませんか? 百彩の森もろつつかより、本年もよろしくお願い致します!

全村森林公園 諸塚  
百彩の森づくり

# 諸塚村

激動の2011年の漢字は「絆」。東日本大震災や原発事故、台風災害など大変な出来事が続くなかで、ひとり一人が協力しあう助け合いの輪が広がり、かけがえのない人とのつながりの大切さを改めて実感した1年でした。

半年前に新しい森の古民家「桜のつぼね」がオープンしました。全国の山村集落では過疎化高齢化が言われていますが、そこに住まう方は、まだまだ元気です。そこで諸塚村の集落内の空き家を譲っていただき、移築ではなく、そのまま集落での生活を体験できる施設に改修し都市との交流の拠点に活用するのが「森の古民家」。施設のなかは、間取りや雰囲気は昔ながらのものを残しつつ、完全給湯や水洗化をするなど、生活設備は近代的なものにリフォームしています。

とはいえ、通常の宿泊施設と違い、立地や使い勝手、買い物、遊びなど多少不便な点は残ります。しかし、「不便さを楽しもう」をコンセプトに、集落の作業や農林業体験し、集落の人と一緒に過ごすことで、短期間ですが集落に住む雰囲気を味わえます。都市型の便利な生活では失われつつある、人と人との絆を実感することができます。第1号の「やましぎの杜」ができて10年を越え、通算約7,000人の方にご利用いただきました。

2012年春に整備するもう1戸を加え、村内全体で5戸となりますが、これからの森の古民家は、短期だけでなく中期長期の滞在者、そして移住を希望される方と、集落とをコーディネートするスタッフが常駐することで、新しい交流の形を生み出す機能を持つ有機的な施設を目指しています。

弊誌も久しぶりの発行となりましたが、今後も山村からの情報発信の媒体として活かしながら、皆様との貴重な絆を結ぶ一助になればと願っています。(矢)

### 諸塚かわら版 ニュースヘッドライン

- 3月26日 吉野宮神社大祭開催される。薩摩琵琶奏者の北原香菜子さんが、初来山公演。
- 4月 1日 諸塚村観光協会が一般社団法人となり新たなスタートを切る。
- 5月13~14日 宮崎大学森のエコゼミナール開催 農学部森林緑地環境科学科の1年生52名が1泊2日の日程で実習に訪れる。村内の2地区に別れて住民との協同作業や聞き取り調査を実施。
- 7月 8~10日 西日本林業経済研究会 諸塚村を会場にして開催される。
- 10月 3日 諸塚村観光協会が第3種旅行業登録を完了小さなムラの小さな旅行会社が誕生する。
- 10月20~21日 延岡市恒富小学校の「森のエコスクール」今年も、諸塚村にて開校される。
- 12月 6~ 7日 観光協会事務局サミットin諸塚 県内12市町村の参加を得て、開催される。

# やま学校日記

村の暮らしの入門編

第106回エコツアー「諸塚でやま学校しよう！」

平成23年 7月 29～31日開催 2泊3日 参加者 19人

## 今月の時間割

### 1日目

集合・ごあいさつ

ナイフ・火おこし講習

ウナギ釣り仕掛け作り

おやつ 焼きジャガイモ

川へ ウナギ仕掛けつけ

夕食 交流会

飛び入りマジックショーで盛り上がりました。

### 2日目

早起き！

ウナギの仕掛け上げ

朝ご飯 お弁当づくり

源流散策

森の中でお弁当

お昼寝 虫捕り

ドラム缶風呂わかし etc

夕食

星空を眺める

流星群が観察できました



### 3日目

早起き！ 虫捕り



竹でバームクーヘン

竹水鉄砲づくり

昼ご飯 そうめん流し

## 山遊びの必須技術!?ナイフの使い方



ナイフ使いの練習として、竹箸作りチャレンジ！しました。事前に伐り倒しておいてもらった竹を割り、ナタの使い方も覚えます。中には手慣れた方も居て、「自宅用に長い菜箸が欲しい。」「コップを作ろう。」などと応用編に挑戦していました。

## 今年にかかるか！ウナギと人の知恵比べ

「ウナギ釣り」のしかけづくり。慣れない人には釣り糸と針の扱いが難しいかもしれませんが、飯干地区の名世話人達の手ほどきを受けて、皆さん頑張りました。

太陽が少し陰りだした夕方17時、いよいよ川へしかけをつけに出掛けます。会場の「溪流の里」周辺の本流に1班、飯干集落の周辺に1班。この2班は比較的歩きやすいところなので、子どもたちなどを中心に向かいました。最後の1班は健脚者向けで、支流へ出掛けていきました。濡れたり・転げたりと多少のアクシデントがあったそうですが、全ての班が無事に帰ってきました。さあ、うなぎはかかるのか!?明日の朝までお楽しみ!!

2日目の朝は早い！うなぎの仕掛けを見るために6時出発。1日目に引き続き、各班分かれてしかけを上げに行きます。ワクワクドキドキの時間です。気になる今年の釣果は、うなぎが1尾にヤマメが3尾。うなぎは地元世話人もビックリするほどの超大物。健脚者チームで宮崎市から参加のYさんの仕掛けにかかっていました。Yさんは、やま学校で通算2度目のうなぎの釣り上げで、今回は超大物ということであいへん満足そうでした。中には、エサをとられている物もいくつかありました。まだまだ、この川にウナギが潜んでいるかもしれないと思うとワクワクします。



大物ゲットで、満面の笑み

こんなに大きな！恵みに感謝！！



【むらの風・まちの風】世界的な音楽家、坂本龍一氏が諸塚へ2度目の来訪！諸塚の自然の音を集めて楽曲作成を。村内の小中学生への特別授業も行われました！（2011.7）

## やま学校日記 第106回 7月29~31日 諸塚山 溪流の里にて

## 森と溪谷を歩く 飯干溪谷散策

2日目はお昼のお弁当を作って、源流散策に出発です！案内人の甲斐和実さんから飯干溪谷の紹介を聞いた後、まずは溪谷を見渡せる展望台に行きました。度胸試しの覗き岩にチャレンジするやま学校生もいました。つづいて、白土々呂滝上の河原において滝を上から覗き見ました。河原を渡る涼しい風が心地よいです。遊歩道に入り、ブナの巨木が並ぶ森をぬけて、川原の元キャンプ場へ。外で食べるおにぎりの味は、格別でした。昼食後、大人達は、川辺で案内人を囲んでのお話しに花を咲かせています。子どもたちは、探検隊を結成して、元気よく川へ遊びに出掛けます。川を遡るプチ沢登り体験です。飯干溪谷のつめた〜い水に驚きの声を上げながら、岩の上を飛び、時には泳ぎ。たどり着いたのは、落差2m程の小さな滝。滝壺に飛び込んで遊べる、楽しいスポットです。初めは怖がる子もいましたが、全員が飛び込みダイブにチャレンジできました。



## 竹で工作&amp;バームクーヘン

やま学校最後の朝。早起きして虫取りに出掛けた子どもたちは、なんと立派なミヤマクワガタをゲット！大興奮で溪流の里キャンプ場に帰ってきました。

お楽しみの竹を使ったバームクーヘンづくりと竹水鉄砲づくり。諸塚でとれた小麦粉・卵・ハチミツをつかって生地をつくります。生地が出来たら、竹に生地を流しかけて、火で焼いて。かけては焼いてと繰り返して年輪模様のバームクーヘンを作ります。みんなで協力し交代しながら1時間ほど、今回は9年生のバームクーヘンが出来上がりました。なかなか立派な出来でした。

## ★やま学校生の声

★一級品の昼寝ができました。

★子供達の沢登りは2泊3日ならでは、ありがとうございます。いつも感じるのですが、このツアーは「同じ時にみんなが同じ事をする」のでないところが、とても気に入っています。例えば、バームクーヘンと竹とか、沢登りと語らいとか。同時進行的な感じですね。

★大自然に住む人の幸せそうな表情、それが私の癒しでもあります。

★星がきれいだった。流れ星も見られてよかった！！

## 今月のやま学校ご飯



郷土料理「こくしょう」



珍味「岩タケ」

竹でバームクーヘン  
竹輪ではありません…

みんな夢中に！そうめん流し

【まちの風・むらの風】諸塚の森の音を、世界へ発信！インターネットを通して、地球上の様々な場所の音をリアルタイムで聞くプロジェクト。只今、やましぎの杜にて実験中です。

# やま学校日記

## 村の暮らしの入門編

第109回エコツアー「諸塚でやま学校しよう！」

平成23年 11月 26～27日開催 1泊2日 参加者 3人



縁側での作業 昼間はポカポカ

### ゴトゴトじっくりそば粉挽き

2011年最後の「諸塚でやま学校しよう！」は毎年恒例の古民家「やましぎの杜」でのそばづくりです。今年は、そばの収量が少なかったため、めぐり棒で叩いてそばの実を“あやす”作業が出来ませんでした。その分、例年よりもじっくりと、そば粉挽きに挑戦しました。やましぎに眠る年季の入った石臼を使い、ゴトゴトと粉を挽きます。やま学校生みんなで交代をしながら、一度引いたものを“篩い”にかけて、もう一度石臼で挽いて。2回目・3回目…。本当だったら、3回で完成なのだそうですが、臼の目がすり減ってしまったためか3回目は上手く挽くことが出来ませんでした。臼のお手入れも必要なようです。

昔は、各家庭に2種類の臼があったそうです。一つは、米・そば・きびなど小さな粒のものを粉にするもの。もう一つは、大豆やとうきび用だったそうです。こちらの方が上に載せる石が分厚くて、重みをかけて挽いていたそうです。以前は、嫁入り道具に持っていった。貧しい家は、臼の片方だけしか渡らなかった。という話もありました。



本格！10割手打ちそば

### 奥がふか～い 10割そば打ち

夕飯の準備も協力して行い、いよいよ10割そば打ちに挑戦です。常連のSさん以外は初めてそば打ちを行うやま学校生たちでした。ベテラン世話人の甲斐光さんの指導で、まずはそば粉をこねます。つなぎは一切なし、そば粉だけで捏ねるので大変です。そば粉の量に対する目安の水の量が決まっていますが、その日の湿度やそば粉の状態に併せて加減が必要です。微妙な加減を見極められたでしょうか。耳たぶくらいの固さにこね終わったらそば打ち台に移って、面棒でひろげ延ばしていきます。打ち粉をたっぷり振っておくことをお忘れ無く。

夕食は、おそばに山芋、焼きしいたけ、光さんから差し入れのシシ肉も並びました。囲炉裏を囲んで和やかな時間でした。

### 今月のやま学校ご飯



←お味はいかが？  
10割そば



←常連Sさん特製  
ふわふわそばがき



↑しっかり食べたい朝ご飯

【まちの風・むらの風】やましぎの杜の周辺ではシカ・イノシシからの農作物被害に困っています。9月のそばまきツアーでは、畑はシカよけネットを設置。参加のやま学（→）

## やま学校日記 第109回 11月26~27日 森の古民家やましぎの社にて

## 森の古民家でお正月飾りづくり

2日目の朝は、かまどで炊いたご飯に、囲炉裏で焼いた塩サバ、お味噌汁、ほうれん草のお浸し。「こんなにちゃんとしたご飯を食べるのは久しぶり！」というやま学校生の感想もありました。

朝食の後は、昨日に引き続きやましぎの世話人甲斐光さんの指導で、お正月飾りづくりに挑戦しました。ワラをない、3本のワラの束を編み込んで締め飾りをつくります。

ワラの下準備も、1日目にみんなで行いました。株元の方をとんとんと打ちつけそろえて持ち、ハカマをとるワラスグリの作業。ワラを少しねじって持つのがコツだそうです。その後は水で湿らせて、加工しやすくしておきます。すぐった後のハカマは、まとめて丸めて注連飾りの中に入れるあんこになります。全て利用、捨てる所はありません。さあここまでが、前日の準備作業。

祭事用のワラは、左縄で編みます。光さんがつくる熟練の手作業を見ていると、スイスイ簡単な作業のように思ってしまうのですが、これがなかなか難しい。ワラない初挑戦！というやま学校生もチャレンジ、しばらく練習をして手の動かし方を掴んだようですが、まだまだ修行の道のりは長そうでした。

作業の途中、光さんから古民家の納屋に納めている古道具の解説も聞くことが出来ました。「この棒は、何したものかわかるかい？」「あれにある桶をば両端にかけて、天秤棒にして使ったわけです。」「これは、牛のハミ切りに使いよった」などなど。貴重なお話しに興味津々でした。

## やま学校生 そば粉でおフランス料理に挑戦

2日目の昼食はそばづくし！という趣向で、フランスの郷土料理「ガレット」を作っていただきました。ガレットは、そば粉でつくるクレープ。クレープといっても、お菓子感覚ではなく、ハムやチーズなどをのせて食事として食べる、フランスの伝統料理なのだそうです。地どれのしいたけや青菜・たまごもトッピングして、オリーブ油を効かせて。ピザのような雰囲気？なかなか好評でした。

そば粉挽き・そば打ち・注連飾りづくりと、昔ながらの手業に学ぶ2日間となりました。

## ★やま学校生の声

★地元産食材をいろいろ味わえたのはよかった。

☆石臼を引くのが楽しかったです。

★思ったより上手く出来てうれしかったです。（そば打ち）

☆楽しい2日間でした。ありがとうございました。また参加させていただきます。

★少人数ながらも楽しく過ごせました。



光さんの手業に感心！！



やま学校風ガレット

(→) 校生にも協力してもらいました。1月のやま学校しよう！では、新企画「猟師さんと山歩き」を実施します。野生の生き物と人間とのおつきあいの仕方を一緒に考えましょう。

## 諸塚を食べる！ 第57回 諸塚ワサビ

ツンとする辛さと言えば「ワサビ」。そのワサビは、諸塚村でも栽培されています。標高1,342mを誇る諸塚山、この麓に位置し山からの清流を受ける飯干地区にてワサビボックス栽培実証事業で栽培しています。災害にも強く安定的な栽培方法で、自然の渓流では収穫までに3年は要するところ、このボックス栽培では、最短1年半で収穫できるところのこと。諸塚村が実証事業を始めたのは、平成19年度



で、それから約4年が経過しています。墨入病や白さび病、イモムシやアブラムシといった病気や害虫の発生もありましたが、栽培開始から約1年半後の平成21年12月に初収穫を迎えています。それから少しずつ収穫・出荷を進め、今年度はこれまで180本を収穫し、村外の料亭等にサンプルとして出荷したり、特産品販売のイベント時に使用したりと利用の幅を広げています。筆者もイベントで食しましたが、キレのある辛さと深い香りが印象的でした。

今後この諸塚ワサビをみなさんへお届けできるようになるかもしれません。これからの栽培が順調に進んでいくことをみなさんで願いましょう！（健）

## うちに泊まんけ！ 諸塚村くめぎの里

### 農家民宿「牛の仔」へようこそ～♪

かわいい子牛に会いたかったら「牛の仔」へ。3世帯家族で元気いっぱいの子供、優しく明るいお父さん・お母さん、心温かいおばあちゃんが出迎えてくれます。6歳になる娘さんも牛が大好き！いつもお父さん・お母さんのお手伝いをしているようです。

ここでの農業体験は、主に牛のお世話。子牛がいるときはミルクをあげたり、運が良ければ牛の出産に立ち会えるかも・・・！？貴重ですよ～。家のすぐ近くでは魚釣りも楽しめ、時期によっては、田植えや山登りなど自然にと触れ合いながら体験が出来ます。そして、おばあちゃん特製のこんにやく・豆腐・漬け物・そば汁や、焼き魚・猪肉を使った料理などが並ぶ夕食の時間はとっても賑やか！こんな所に家があるのかと、みんながみんな驚く場所に位置していますが、四季折々の絶景が疲れた身体を癒してくれます。夜になると満点の星空が目の前に広がりますよ～。

興味があるかたは是非、「牛の仔」へ遊びに来て下さい！（尾）



## NEWS① 日向市立寺迫小学校 森のエコスクール開校！

2011年8月に、4年生～6年生までの計40名が1泊2日で諸塚を訪問。マイはしづくり・カヌー・川遊びなど夏の諸塚村を満喫。6年生児童、14名は農家民宿に宿泊し村のお父さん・お母さんと交流を深めました。日向市内の小学校の森のエコスクール実施は今回が初めてでした。



民泊先のお母さんと記念写真

## NEWS② 黒岳周辺の稀少植物観察エコツアーを実施

日程：平成23年 8月18日（木）～22日（月）の5日間

時間：各日とも朝9時集合 14時ごろ解散 場所：黒岳周辺

諸塚村の最高峰、黒岳周辺(1457m)に稀少植物が多数見つかりました。シカの食害からの保護プロジェクトを立ち上げて3年目。今年はじめて保護エリアを公開する観察イベントを実施しました。5日間の期間中に、のべ100名近くの方が訪れ、山中に咲く珍しい花と黒岳の自然を楽しみました。

今後も、来訪者と住民が知恵と力を合わせて、この稀少植物が育つ自然環境を未来へ伝えてゆけるような取組を計画してゆきたいと思います。



キレンゲショウマ

## NEWS③ 池の窪グリーンパークがリニューアル

4月から池の窪グリーンパークの施設内を順次リニューアル中です。これまで別々だったログハウス管理棟と飲食施設を1つの建物に集約。新しくオープンした、お食事処「えくぼ亭」では、シイタケを使った「なばかつカレー」が人気です。また、現在えくぼ亭内の薪ストーブ設置と新たな宿泊棟開設に向けて準備を進めています。オープンは2012年春の予定。どうぞ、お楽しみに！！



※2012年1月から「えくぼ亭」は店舗改修の為、しばらくの間休業させていただきます。

## NEWS④ 諸塚村観光協会が旅行会社に！！

諸塚村観光協会では、2011年10月3日に県知事登録を行い旅行業を開業しました。これまで培ってきた体験交流ツアーの経験を活かして、地域の資源を活かした魅力ある企画を今後益々発信していきます。どうぞ、お楽しみに！！

●旅行業第3種とは？ 営業所の所在する市町村とその周辺に隣接する市町村の中に限って募集型企画旅行を実施することが可能です。（平成19年5月より制度改正）

## イベント情報

# もろのお神楽

トントン トントン！  
寒さとともに神楽の季節到来

毎年1月末から2月にかけてが諸塚村の神楽シーズン。  
ほら、今日もどこかで太鼓の音が…

## 戸下神楽

1月28日(土)～  
29日(日)  
会場：戸下集会所



## 南川神楽

2月4日(土)  
～5日(日)  
会場：小弘集会所

## 恵後の崎神楽

2月11日(土)  
会場：恵後の崎集会所



諸塚の神楽は、各集落の住民の手で伝承されてきた神聖なお祭りです。そこに参加させてもらうという気持ちを忘れずに。地元では、お供えとして焼酎(2升～3升程度)かそれに相当するお金を持参する習わしになっています。

※それぞれの神楽の詳細を知りたい方は、お気軽に事務局までお問い合わせ下さい

## ●今後の予定・お知らせ

- 1/3 もろっこはうす初売り 諸塚村成人式
- 1/28-29 第110回エコツアー 獵師の世界、味噌仕込み、神楽の神面行列鑑賞(新企画！)
- 2/11-12 第111回エコツアー 竹炭焼き、原木シイタケ、夜神楽
- 3/4 第27回諸塚山山開き
- 3/18 森の恵みの感謝祭

## ●もろつか歳時記

かずら細工づくり体験 2011.12.8



## 【編集後記】

- ◆いきなりですが、引っ越しました！新たな住まいは、本紙巻頭コラムでも紹介している古民家宿泊施設。2012年は古民家管理人としても楽しい企画を打ち出していきます。(田)
- ◆村中心部の工事も進み、これから新たなまちづくりが始まります。私も2012年で30歳、新たな自分づくりを始めます。って、何すればいいっちゃろ～??(健)
- ◆ブログ、ツイッター、フェイスブックと情報発信ツールは増えるばかりですが、「やはり基本は紙だな」と思うのは年を取ったからかな。どちらにしろ、ちゃんと情報発信することですね！(矢)

## 〈発行元〉諸塚村くぬぎの里ツーリズム推進協議会

〒883-1301 宮崎県東臼杵郡諸塚村 大字家代3068 しいたけの館21  
一般社団法人諸塚村観光協会内

電話 0982 - 65 - 0178 FAX 0982 - 65 - 0189 (毎週水曜休館)

Mail ecom@vill.morotsuka.miyazaki.jp 公式twitter @MorotsuKanko

諸塚村HP <http://www.vill.morotsuka.miyazaki.jp>

諸塚村ブログ <http://blog.morotsuka.jp>

全村森林公園 諸塚  
百彩の森づくり

# 諸塚村